長洲町立長洲小学校 校長便り No.126

るにも良い季節とな

この様に、何をす

### 

みんなの居場所の裏面は、小学生に 必要ではないかと思う問題。 間用句等々を載せていきます。 ご家族の団らんの話題にしてみてくだ さい。会話が広がほす。

令和5年10月19日(木)

ろです。

後に、6年生は修学

れぞれに多くの学び でも見学旅行が実施 節ですね。他の学生 何をするにも良い季 す。秋という季節は されていました。そ ス音楽祭に参加しま があったようです。 には3年生がコスモ た、11月10(金 旅行に行きます。 ま

り組むことで、大き り、同じことを学習 ができる季節でもあ りじっくり学習に取 ができます。ゆっく 習を進めると成果が ます。これに備えて 状況調査が実施され ります。 12月初旬 な成果を収めること にも当てはめること 発信という視点で学 情報の収集や活用 には熊本県学力学習 今、6年生の子供達は平和学

6年生の表情から達 り、お世話をする側 成感や充実感が伝わ としては、とても痘 録会が終わり、5・ しく思っているとこ これから約2週間 い物をするわけですから、ワク って、家族や自分のためにお買 ことはないであろう大金をも リク感も大きいです。私も6年 品買い物があります。 普段持つ 修学旅行の楽しみの一つに

るので、その心配はありません す。今は、インターネットがあ 良いまとめができたかもしれ 葉書を買っていれば、もう少し ました。「お母さんが、鶴屋で ない…、なんて思ってしまいま きは苦労しました。あの時、絵 の食べ物に目がいってしまっ の置物等々。当時の私は目の前 ホルダー、べっ甲でできた帆船 が入っていますね。他にはキー 鶴屋デパートには有名なお店 買えばいいって言っとったけ いの遣い方を思い出してみま 生の時同じ経験をしました。そ て、修学旅行のまとめをすると ん、俺は買わん。」なるほど、 こで、私自身の修学旅行の小遣 した。しかし、こんな友達もい した。定番のカステラは買いま

遣いについても話し合いをし 習と並行して修学旅行のお小 っかり持って、実り多き修学旅 いて欲しいです。目的意識をし ですが、客観的な視点は持って の事に取り組むのは良いこと ているとか!? 主体的に多く 行にしましょう。 どう考えられますか?

### 修学旅行の思い出その②

昨日、町の陸上記

たとは考えられません。保護者の皆様は た。当時からお金の価値が10倍になっ 私が子供の頃は、いくらお祭りだから ました。そして、買ったそのガムをいっ りました。更に、財布の中身は千円札が れませんー?)まとめて買う子の姿があ つことは無く、せいぜい100円でし とすべきかと頭を抱えてしまいました。 ぺんに開けてしまうのです。 これを良し 1枚、中には2枚3枚入れている子もい では、1個ではなく数個(何十個かもし 封を切ったものです。しかし、その会場 らあったガムで、当時は1個10円だっ 物を眺めました。そこに当たり付きのガ 駄菓子コーナーでは私達も懐かしく品 たと記憶しています。 1個だけ買って ムが売ってありました。私が子供の頃か てきていたお金の額とその使い方です。 ハザーだからといってお札のお金を持 「当たるかなぁ…」とドキドキしながら さて、その出店での話。子供達の持つ

いいのでしょうか?
今の社会では答 かもしれません。お金の与え方、これで スの出しにくい問題ですね。 人に、金銭感覚の見直しを迫っているの 子供達のこのような行動は私たち大

得られそうです。

## 経験則③「金銭感覚

学生を起用するということが行われて 自治会が協力して、出店のスタッフに小 少し寂しい気がしています。前任校では 域の祭りやバザー等で買い物をするの も学んだ場面でしたね。 の祭りにも制限がかかっていることは、 ワクするものです。昨年と今年は、地域 いました。物を売るということの厳しさ 他校勤務時代に経験したことです。地 私たち大人も童心に帰って何かワク

りました。 せました。お蔭で、結構楽に準備が進み、あっという間の実施に至 事務的な仕事を覚えてもらうためにその先生に多くの事務処理を任 けでした。部活動担当者は私とその年からの初任の先生でしたので、 保護者の皆様も大変協力的で、私は計画を立て、コースを決めるだ 複数で検討した結果、ナイトハイクとの違いは時間帯と距離という 理だと考えた私は、

同問に行うため

に必要なことを

炙り出しました。 等などです。学級で行う活動とは違いますので、ナイトハイクは無 と一緒に達成感や成就感を味わう」「協力、協働の大切さを感じる」 **綺誦に至り、早朝出発の「30㎞鍛錬強歩」としました。この年の** 

きるのが、私達教師の遣り甲斐であると私は思います。 情を高めていきます。そういったことをプロデュースすることがで えてきます。授業の中では仲間と学び合い、生活の中では主体性や 送りながら子供達は何を学ぶのかということを考えた時、答えが見 ことが分かります。少々脇道に逸れていますが、学校で集団生活を ぎません。教育の目的を達成するためには学力だけではないという の中の1つに「学力」はありますが、それは必要な資質の一つにす げてあることは5つあります。詳しく書くと長くなりますので5つ つ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。」 ります。「教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつ ほど、では必要な資質とは何でしょう? それが第二条に書いてあ 身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」なる 平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心 目的が第一条に書いてありました。「教育は、人格の完成を目指し、 れません。教育基本法にはどう書いてあるのでしょうか? は何なのでしょう? 学力向上、それは学校の第一義の目的かもし ているような気がします。そもそも、小学校や中学校などの目的と 協働性を発揮し、学校教育全体で規範意識や人権意識を高め自尊感 私の主観ですが、子供達や保護者の皆様はこういった行事を求め 次に掲

強歩」 も無事に成功しました。 それがスタンダードになったかどう かは分かりませんが、効果は絶大でした。 いやいや、硬い話を語ってしまいました。てな訳で「30㎞鍛錬 (つづく)

# シリーズ「自分を語る」#126

きませんでしたが、私は前年度から看々と準備を進めました。 思い、「歩く」ことに目を付けました。さすがにその年度には実施で 回路の私は学級で楽しめたのだから、どこででも楽しめるはずだと とっておきのアレと言えば「アレ」しかありません。単純な思考 「強歩」の目的は「目標達成まで諦めない心を身に付ける」「仲間

)